

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
横田 昌彦			
A (会計学科)	S (専門科目)	AC (会計)	304 (上級科目)

授業のねらい（概要）	上場企業・グローバル化した企業の複雑な商取引の実態を企業会計の論理的側面からの確に捉え、適切に会計情報を伝達・開示する企業会計の果たす役割の重要性を理解し、企業会計を通じた実際の企業活動を論理的側面から理解した会計実務者を養成することを目的とする。具体的には、上場企業・グローバル化した企業の複雑な経営活動に関する取引を理解し、主として総論、各論を中心に学修する。		
授業計画	第1回	【遠隔】 1. 財務会計の基礎概念 財務会計の基礎概念について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：簿記1級会計学理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、問題集を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第2回	【遠隔】 2. 一般原則 一般原則について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：簿記1級会計学理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、問題集を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第3回	【遠隔】 3. 損益計算書総論、4. 貸借対照表総論 損益計算書総論、貸借対照表総論について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：簿記1級会計学理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、問題集を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第4回	【遠隔】 5. 棚卸資産、6. 固定資産 7. 繰延資産と引当金 棚卸資産、固定資産、繰延資産と引当金について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：簿記1級会計学理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、問題集を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第5回	8. 収益の認識 9. 概念フレームワーク 収益の認識、概念フレームワークについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：簿記1級会計学理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、問題集を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第6回	総論編 第1章 財務会計の基礎概念 財務会計の基礎知識について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第7回	総論編 第2章 損益計算書総論 損益計算書総論について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第8回	総論編 第3章 貸借対照表総論 損益計算書総論について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第9回	総論編 第4章 財務会計の概念フレームワーク 財務会計の概念フレームワークについて、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第10回	各論編 第1章 流動資産 流動資産について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	
	第11回	各論編 第2章 固定資産 固定資産について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）	

	固定資産について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120） 各論編 第3章 繰延資産 第4章 負債 繰延資産、負債について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120） 【課題】各論編 第5章 純資産 純資産について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120） 【課題】各論編 第6章 税金 第7章 収益の具体的認識基準 税金、収益の具体的認識基準について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120） 【課題】特論編 第1章 金融商品に関する会計基準 金融商品に関する会計基準について、テキストを読み、理解し、説明できるようにする。 予習（時間）：全経上級財務理論のタイトルの項目についてweb視聴をし、正誤問題対策を解き理解しておく（120） 復習（時間）：タイトルの項目について問題集の復習をし、完答できるようにする（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学部）の2項目を意識した科目となっている。 1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP（会計学科）の1項目を意識した科目となっている。 1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力 【身に付くスキル】 論理的思考力・課題解決力
到達目標	①会計処理を論理的側面から理解することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。
履修上の注意	次の事項について十分に注意すること。 (1) 講義の他、朝7時から予習復習を行う (2) web視聴を前提とした反転講義を行う (3) 欠席の場合には事前に教員に連絡する (4) 欠席（公欠含む）6回で履修放棄とみなす (5) 日商簿記検定1級、全経上級と同等の知識を要する
成績評価の方法・基準	学期末に行う「筆記試験」（50%） 授業内外の「課題」（50%）
教科書	経理研究所において利用している「理論マスター」「財務会計」の理論テキストを利用する
参考書・教材	
備考	講義科目／実務家教員による授業 2020年度は、13～15回は課題研究として学修する。 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、及び作業指示を高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで行う。各回全体で330分の学修を想定している。 「成績評価の方法・基準」欄の「筆記試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかに高崎商科大学経理研究所のwebシステムなどで実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。
教員との連絡方法	高崎商科大学経理研究所のwebシステムを通じたメール（アドレスは授業内で周知）